

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科1年生	単位 2単位
科目コード 20200	科目名 アパレル素材論	授業期間 通年(28コマ)

担当教員(代表) : 菅野 めぐみ

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレル素材に関する基礎知識について、講義や実験、演習を通じ理解させる。更に、アパレル業界との繋がりや現状と関連付けながら解説し、服作りや取扱いにおける素材の知識及びテキスタイル表現としての応用展開が出来る力を身につける事を目標とする

1. 概論／1コマ(講義及び演習)

アパレル素材とは、繊維、布(織・編)の認識

<実習内容> 服装調査、テキスタイルファブリック帳作成

2. 繊維／11コマ(講義及び演習)

天然繊維、化学繊維の種類、性質、用途、加工

<実験内容> 繊維の鑑別実験(燃焼法、顕微鏡法、呈色法)

3. 糸／3コマ(講義及び演習)

糸の構成、種類、紡績糸、フィラメント糸について、撚り方向、撚り数、糸の太さを表す単位

<実習内容> 糸作り、紡績糸・フィラメント糸分類

4. 布地／10コマ(講義及び演習)

織物の種類、組織、特徴、用途(三原組織、重ね組織、パイル組織、紋組織等)

編物(ニット)の種類、組織、特徴、用途(たて編、よこ編)

テキスタイルファブリック内の代表的な布地に関してミニテスト(綿織物、毛織物)

<実習内容> 布地調べ、三原組織作成、組織別分類

5. その他の素材、仕上げ加工、風合い分類／2コマ(講義)

加工、その他新素材、風合い表現及び、風合いをつくる各方法

6. 総論／1コマ(講義)

アパレル素材について総論

授業方法: 講義、実験実習、サンプル回覧、DVD鑑賞 含

評価方法・対象・比重

学年末試験、レポート課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連講座①「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック、アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 菅野 めぐみ

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14271	科名	ファッションテキスタイル科1年	単位	4単位
科目コード	20350	科目名	染色演習	授業期間	通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 : 猪坂 綾野
------------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

実験実習・レポート製作を通して各染色技法、加工方法を習得し、新たな発想力、表現力を養う。

素材選択から染色加工に至るまでのファッション衣料としてのテキスタイルの総合理解を図る

概論、基礎実験、工芸染色、夏季休暇課題、展示会見学

前期2単位 後期2単位

(前期)

染色概論	1コマ
カラートライアングルの作成	5コマ
精錬・漂白実験	2コマ
染色基礎実験	8コマ
天然染料による染色実験	4コマ
絞り染め、板締め絞り	4コマ
糸染色	2コマ

(後期)

型染め	4コマ
ろうけつ染め	4コマ
更紗	4コマ
皮革染色	4コマ
特殊な捺染及び加工方法	4コマ
フェルト、糸紡ぎ	4コマ
自由作品制作	
ジャパンクリエイション・工場見学	4コマ
夏季休暇課題	

評価方法・対象・比重

出席、各実験、実習ごとのレポート及び実習物、試験(前期)、自由作品製作(後期)

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座③ アパレル染色論
参考図書 実物資料	
その他資料 杉山 美和	

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 4単位
科目コード 21050 科目名 ウィービング基礎演習	授業期間 通年

担当教員(代表) : 長谷川朋子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期は三原組織を中心にサンプル制作を通じ、織物の構造を理解し、制作に必要な知識・技術を習得する。

前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由制作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	課題1 三原組織	16	仕上げ 縮絨
2	↓ 課題2 サンプル制作	17	課題4 自由制作
3		18	↑ 課題5 厚地織物
4		19	
5	↓	20	
6	組織図	21	
7	糸染色	22	
8	課題3 マフラー制作	23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	↓ ↓ ↓
14		29	プレゼンテーション 講評
15	↓	30	

評価方法・対象・比重

実技課題作品・レポート提出による評価

主要教材図書 ハンドウィービング(手織りの実習)
参考図書
その他資料 作品サンプル(講師作成)

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 2 単位
科目コード 22010	科目名 テキスタイルクリエイションI	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

テキスタイル製作において必要な基礎カリキュラムの充実をはかる。

作品製作を通して、「基礎知識」「基礎技術」「基礎デザイン」が習得できるようにする。

テキスタイルワーク、日傘・こいのぼり製作、きもの製作(民族衣装)

前期1単位 後期1単位

(前期)

テキスタイル基礎テクニック 2コマ

日傘・こいのぼり 10コマ

(後期)

民族衣装 12コマまたは

コラボレーションカリキュラム 12コマ

ニット講義・実習 小林桂子 6コマ

評価方法・対象・比重

出席、各実習ごとのレポート及び実習物

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座③ アパレル染色論 他

参考図書

その他資料 実物資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 1 単位
科目コード 22910 科目名 テキスタイル特論 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

専門科目において不足している分野に関する講義、実習などをを行い、専門性の向上をはかる。

真綿、皮革、藍染、きもの

真綿からのテキスタイル発想 大金晶子 3コマ

皮革素材について 竹内 健 2コマ

藍染め 新島 大吾 4コマ

きもの一般知識 吉田 真理子 4コマ

評価方法・対象・比重

出席、感想文

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 1 単位
科目コード 97510 科目名 自由研究 I	授業期間 ()

担当教員(代表) : 杉山 美和

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

「自主性」「独創性」「表現力」と共に「協調性」の向上を目的とする。

自由研究ならではの講義および実習を導入する。研究内容設定、研究調査、グループ企画・製作、工場・企業訪問

研究実習 6コマ

Textiles for stuffed dolls 金谷容子 4コマ

ZINEの世界 清水寿朗 1コマ

心理学 野町一成 2コマ

評価方法・対象・比重

出席、各実習ごと実習物、感想文

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 4 単位
科目コード 02010 科目名 服飾造形 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服製作を通して、衣服の構造を理解し、ファッション衣料としてのテキスタイルを関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、スカートの知識・縫製、シャツブラウスの基礎知識・縫製

前期2単位 後期2単位

(前期)

- ・ 服飾造形の基礎 6コマ

服飾造形概説

縫合の基礎

下着の重要性

採寸

文化式婦人原型の作図法

- ・ スカート 18コマ

一般知識

作図

パターンメーキング

裁断

縫合

着装、発表会、レポート提出

(後期)

- ・ シャツ・ブラウス 26コマ

一般知識

作図

パターンメーキング

裁断

縫合

着装、発表会、レポート提出

評価方法・対象・比重

出席、レポート及び実習物、理解度

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座① 「服飾造形の基礎」、②「スカート・パンツ」、③「ブラウス・ワンピース」

参考図書

その他資料 実物資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 2 単位
科目コード 03910 科目名 ドレーピング I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

立体裁断の基本的考え方・基礎的技術・知識を理解させる。

布目の重要性・ボディとパターンの関係、ドラフティングの仕方、平面から立体への布のとらえ方、視覚訓練の重要性。

立体裁断の基礎、タイトスカート、身頃の基礎、シャツ・ブラウス

前期1単位 後期1単位

(前期)

1・立体裁断の基礎 4コマ

・準備…用具、ボディ、布などの説明

・ボディライン入れ

・布目通し、ピン打ち各種説明

2・タイトスカート 8コマ

(後期)

3・身頃原型 6コマ

4・シャツ・ブラウス ……8コマ

・サイド・ダーツ、肩ダーツの身頃

・衿…シャツカラー、フラットカラー、スタンドカラーなど

・袖…セットインスリーブ、シャツスリーブ(説明)、パフスリーブ、カフスつきなど

※ピン打ち、ドラフティング、パターンチェック、再組み立て

評価方法・対象・比重

出席、実習物

主要教材図書

・文化ファッション大系 アパレル生産講座 「立体裁断 基礎編」

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14271	科名	ファッショントキスタイル科1年	単位	1単位
科目コード	50900	科目名	造形演習	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 北川 和男	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

基礎造形力の育成と発展を主眼に授業を進行し、各自のテキスタイルデザイン制作への反映と活用を目標とする。前半の導入部にはグラフィックデザインを課題とし、創造力と観察力とその展開を学習する。後半部は、立体造形を中心に観察力・造形力・表現力の総合的な養成を目標に授業を進行してゆく。すべての課題において、物造りに於ける質の高い試行錯誤を経験させる。

- 後期 (14コマ) -

[I] ピクトグラム／ロゴマーク : (4コマ)

自然(植物・動物)から発想を得たピクトグラム／ロゴマークの制作。
特徴の把握と形態の単純化・抽象化と象徴性の学習。

[II] プロダクトデザイン／ハンガー制作 : (5コマ)

三次元形態のデザイン制作。二次元のデザイン(計画)から三次元への展開。
スチレンペーパーからハンガーを造る。作品のレンダリング(ドローイング)まで。

[III] 立体構成 : (5コマ)

一辺10cmの立方体に色彩と幾何学的形態を用い立体的に構成する。

基本形態の立方体に色彩・形態を付加しリズム・運動感を与える。

色彩・形態を用いた構成力の立体的な学習。

方法: 実習(参考作品・資料映像を、プロジェクターを用いて表示した講議・解説を含む)

また、各課題の終了時には、プレゼンテーションと講評会を行う。

制作物: 平面作品1枚、立体作品2個

コマ数: (全14コマ)、[I]-4コマ、[II]-5コマ、[III]-5コマ

評価方法・対象・比重

課題制作物(平面デザイン1課題、立体デザイン2課題)の評価に比重をおき、出席率を加味して総合的に評価する。

主要教材図書

参考図書

その他資料授業では課題説明の際に、隨時に参考関連作品等の資料映像をプロジェクターにて鑑賞させる。

記載者氏名 北川 和男

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科 1年	単位 2
科目コード 53110	科目名 色彩論・演習 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 天野豊久

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

テキスタイルデザインの中で色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | |
|--|----------------|
| 1. 導入 色について | 〈講義 1 コマ〉 |
| 2. 色の三属性 色の三属性(色相・明度・彩度)
等色相面／色立体
Hue & Tone システム | 〈講義および演習 6 コマ〉 |
| 3. 配色の基礎 色相を基準とした配色
トーンを基準とした配色
無彩色の配色／柄の配色 | 〈講義 6 コマ〉 |
| 4. 色彩心理 色彩の感情効果／連想／イメージ
色の見え 対比現象／同化現象
膨張性／進出性 | 〈講義および演習 5 コマ〉 |
| 5. 色彩理論 光、眼と色
三原色と混色 | 〈講義 3 コマ〉 |
| 6. ファッションカラーコーディネーション
配色(色彩構成)の考え方
ベースカラー／アソートカラー／アクセントカラー／セパレーションカラー
ファッションカラーコーディネーション
トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ／トーン・イン・トーン／トナル | 〈講義および演習 4 コマ〉 |
| 7. 配色の展開
・絵画の配色分析と配色への展開
・色相の移調／トーンの移調 | 〈講義および演習 5 コマ〉 |

評価方法・対象・比重

提出物の評価および学年末期試験の得点を総合的に評価し、出席など授業態度を加味して最終評価とする。

主要教材図書

『ファッション色彩 I』(文化出版局)

参考図書

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー 140

記載者書名欄 天野豊久

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科 1年	単位 1単位
科目コード 50200 科目名 デッサン	授業期間 (前期)

担当教員(代表) : 酒井英実	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 視点を変え、ものを見ること、描く事の意味を再認識する事とあわせ、基本的描写能力・表現能力の向上を目的とする。また平面にとどまらない各自の、多彩な表現に結びつくような方向性も考慮する。
--

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	鑑賞	17	
3	同上	18	
4	速写をする	19	
5	石膏デッサン1	20	
6	静物、自然物	21	
7	静物、自然物	22	
8	色彩	23	
9	風景画	24	
10	水墨画	25	
11	色彩	26	
12	人体	27	
13	絵のまとめ方	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重 出席状況、授業態度、課題提出、提出内容を総合的に判断
--

主要教材図書 特になし
参考図書 特になし
その他資料

記載者氏名 酒井英実

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科 1年	単位 2 単位
科目コード 51110	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間 1年間

担当教員(代表) : 金谷 容子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

『服作りの出発点であるデザインを絵で表現する』ことを習得するためのカリキュラムである。

基礎技法を中心に創造力を高め、イメージするデザインを具体化する力を身につける。

- 人体のプロポーション
- ポーズ
- 着装表現
- アイテム図
- 彩色表現
- 素材表現
- デザイン発想
- 修了制作

評価方法・対象・比重

課題作品の提出・出席状況・授業態度・学年末試験による総合評価

主要教材図書 ファッションデザイン画の教科書・補助プリント

参考図書 ファッション雑誌

その他資料

記載者氏名 金谷 容子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科 1年	単位 1単位
科目コード 60100 科目名 ファッションビジネス概論	授業期間 (後期)

担当教員(代表) : 増田 大助	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションビジネスに必要とされるファッションビジネスの特性から、変遷、現状、産業構造、業態、職種、流通、マーケティング、マーチャンダイジング、計数、販売にいたる基礎知識を学ぶ。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1、ファッションビジネス | ・ファッションとは
・流行と発生要因
・ソフト化経済とファッション化社会
・ファッションビジネスの輪郭 |
| 2、ファッション消費の変遷 | ・戦後の変遷(50年代～70年代)
・戦後の変遷(80年代～90年代)
・現在 |
| 3、ファッション流通 | ・ファッション流通機構
・ファッション関連産業 |
| 4、アパレル産業 | ・アパレル卸商の種類
・アパレル企業の仕事のプロセス
・アパレル卸商の取引き慣行 |
| 5、アパレル小売産業 | ・小売業の社会的、経済的役割り
・アパレル小売業の業態特性
・ファッション販売
・ショップに関わる計数 |
| 6、ファッション産業界における21世紀に向けた課題 | |

評価方法・対象・比重
出席率+プリントノートの総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 増田大助

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科 1年	単位	単位 2
科目コード 35000 科目名 服飾手芸	授業期間	1年（通年）

担当教員(代表)：久保田桂子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にしてテキスタイル、服飾、小物造形などに応用発展できるようになる。また、素材・テクニック・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

1. 手芸一般知識 (0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レリーフ・ライク表現 ラティススマッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点 (2)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

3. レース表現 ファゴティング 基礎作品1点制作 (1)

様々ななかがりによるファゴティングの基本的なテクニックを習得させる

4. 加飾美表現 カラーエンブロイダリー応用 バザー作品制作 (7)

バザー作品製作を通じて服飾における刺繡配置及び装飾表現を理解させる

5. レリーフ・ライク表現 イタリアンスマッキング 基礎作品1点制作 (1)

一枚の布を縫い縮めて変化させて装飾効果を表現するテクニックを習得させる

6. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作 (3)

レースのテクニックの中で結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする

7. レース表現 テネリーフレース 基礎作品1点 応用作品1点制作 (4)

糸のみで構成するテネリーフレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする

8. レリーフ・ライク表現 イタリアン・キルティング トランプト1点・シャドー1点作品製作 (4)

2枚の布の間に毛糸などを入れてオリジナルな浮き彫り表現するテクニックを習得

9. 装飾造形表現 コサージュ 作品製作2点 (4)

アートフラワーの基本的な知識と洋服の残り布や様々な素材を使用してコサージュを作り、服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる

評価方法・対象・比重
実物作品 出欠席

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 プリント コレクション写真 各種標本

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14271	科名	ファッショントキスタイル 科 1年	単位	2
科目コード	41000	科目名	西洋服装史	授業期間	通年

担当教員(代表) :	原田 弘美	共同担当者 :
------------	-------	---------

教育目標・レベル設定など

衣服の起源から始まり、古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。

各時代の特徴的な染織や現代ファッショントキスタイルとの関連性にも着目しながら学び、過去の服飾から得た知識から新たなデザイン発想へと展開させる力を身につけることを目標とします。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義授業 ／ DVD、スライド(Microsoft Office PowerPoint)使用

1. オリエンテーション 衣服の起源 (1コマ)
2. 服飾博物館見学 (1コマ)
3. 古代の服飾 (2コマ)
 - メソポタミア、古代エジプトの服飾
 - 古代ギリシア、古代ローマの服飾
4. 中世の服飾 (3コマ)
 - ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾
5. 近世の服飾 (5コマ)
 - ルネサンス、バロック、ロココの服飾
6. 近代の服飾 (5コマ)
 - フランス革命期、第一帝政から第三共和制の服飾
 - 19世紀末期、アール・ヌーヴォーの服飾、
 - モード産業の基盤
7. 現代・20世紀前半の服飾 (6コマ)
 - オートクチュールデザイナー
 - 20世紀初頭、アール・デコの服飾
 - 1930年代～1950年代の服飾
8. 現代・20世紀後半の服飾 (5コマ)
 - オートクチュールからプレタポルテへ
 - 1960年代～2000年代の服飾
 - 20世紀ファッショントキスタイルの変遷、まとめ

評価方法・対象・比重	学年末試験・・・70%
	博物館見学レポート・・・20%
	出席状況・・・10%

主要教材図書	文化ファッショントキスタイル大系⑪「改訂版・西洋服装史」文化出版局
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者署名欄	原田弘美
--------	------

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 2単位
科目コード 56200 科目名 グラフィックワーク	授業期間 通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

Illustrator 初心者を対象に、ソフトの基本操作を習得し、ペンツールの描画方法、連続柄の作成方法、回転・反転ツール等の操作を身につける。Photoshop の基本操作を習得し、2年生からのデジタルプリントのデータを作成するための基本を身につける。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 基本図形の描き方 : 講義・実習 3コマ
 ①基本操作とメニュー ②色の設定方法 ③基本図形の描画方法
2. ペンツールの描画方法 : 講義・実習 講義・実習 4コマ
 ①直線 ②曲線 ③直線と曲線
 ④オープンパスとクローズパス
3. 写真のトレース方法 : 講義・実習 3コマ
 ①写真のスキャニング ②写真の配置 ③トレース
4. 連続柄作成方法 : 講義・実習 3コマ
 ①スウォッチの作成方法 ②ストライプの作成 ③水玉の作成
5. 回転・反転ツールの使い方 : 講義・実習 2コマ
 ①回転ツールの使い方 ②反転ツールの使い方 ③左右対称図形の描き方
6. スカーフのデザイン : 講義・実習 3コマ
 ①パターンブラシの使い方 ②図形の整列方法 ③スカーフのデザイン
7. Photoshop の基本操作 : 講義・実習 2コマ
 ①Illustrator との相違点 ②レイヤーの使用方法 ③ブラシツールの使い方
8. デザイン画への着彩方法 : 講義・実習 3コマ
 ①下絵の修正 ②選択範囲の作成方法 ③色調補正によるカラーバリエーション
9. Tシャツグラフィックの作成(実物制作) : 講義・実習 4コマ
 ①モチーフの選定 ②モチーフの切り抜き ③画像の合成

評価方法・対象・比重

授業内課題作品・実技試験・出席状況

主要教材図書
特になし

参考図書 特になし

その他資料 Adobe PhotoshopCS5/Adobe IllustratorCS5

記載者書名欄 飯塚 有葉

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271 科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 1 単位
科目コード 98110 科目名 特別講義 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

通常カリキュラムの範囲外における、テキスタイルに関する情報や知識を学ぶ。

クリエイティブ・テキスタイル、トレンド、服装解剖学、VMD、身体表現、デザイン、立体、造形、編集

テキスタイルトークセッション 近藤正嗣 奥田博伸 シミズダニヤスノブ 1コマ

ファッショントレンドとテキスタイル 澤住倫子 1コマ

服装解剖学 伊藤由美子 2コマ

VMDについて 伊藤淑恵 7コマ

身体表現 楠原竜也 2コマ

評価方法・対象・比重

出席、感想文

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 1 単位
科目コード 96000	科目名 校外研修 I	授業期間 前期

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

学外にて多くのものを見聞することにより視野を広げ、より多くの専門的な知識を得ると共に社会人としての不可欠な教養とマナーを育む。

コミュニケーション・キャンプ(北竜湖)

6/7～6/9

2泊3日

評価方法・対象・比重

出席、感想文

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14271	科名 ファッションテキスタイル科1年	単位 1 単位
科目コード 65541	科目名 キャリア開発 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

就職に向けてのキャリア開発講座により、コミュニケーション能力の向上、就職意識への関心度を高め、「人間力」の育成をはかる。

テキスタイル企業へ就職しているテキスタイル科の卒業生から、仕事についてのアドバイスを受ける。

仕事とは	斎藤幸江	6コマ(通年)
カメラワーク(基礎)	大塚七重	3コマ(前期)
先輩からの言葉①	山田春香	1コマ(前期)
先輩からの言葉②	未定	1コマ
先輩からの言葉③	未定	1コマ
先輩からの言葉④	未定	1コマ

評価方法・対象・比重

出席、レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 2
科目コード 21500	科目名 テキスタイル論	授業期間 通年

担当教員(代表)：野口 美千代

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

完成度の高いアパレル製品をつくるには、素材の特性を最大限に引き出す必要がある。テキスタイル論では、講義、実験・実習を通して、布地の性能・風合い、テキスタイルの産地等、アパレル素材に関し、より深い知識を習得する。その上で、テキスタイルの企画提案が出来るようになる。

授業概要

1. テキスタイルの構成要素 9コマ
テキスタイルの構成要素、各種の纖維の布地について解説。(講義・実習)
新素材・機能性素材等の解説。(講義・実習)
2. 布地の風合い表現 4コマ
各種布地の風合い表現方法を解説。(講義・実習)
3. 布地の性能実験 6コマ
布地の基本性能を解説。(講義・実習・発表)
4. 皮革 1コマ
皮革の性質、特徴、種類等を解説。
5. プリーツ性について 2コマ
各種の布地についてプリーツ性について解説。(講義・実習)
6. 布地の産地 3コマ
織物産地を解説。(講義・実習)
ニット産地を解説。(講義・実習)
7. ニット・その他の布地 2コマ
各種のニット・その他の布地に関して解説。(講義・実習)
8. 企画・設計 1コマ
アパレル素材論Ⅱのまとめ (講義)

評価方法・対象・比重

学年末試験、レポート課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座① 「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書「ワークブック アパレル素材論」文化服装学院編 教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位 1
科目コード 20900	科目名 テキスタイルプランニング	授業期間 後期

担当教員(代表) : 車 純子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションテキスタイル制作において、プランニングの重要性を理解する。様々な角度からより多くの現状の素材ビジネスの展開を紹介し、リアリティーのある、明確な目的を持ったプランニングを目指す。テキスタイルビジネスの世界での的確な視点、適応力を育て、テキスタイル企業での実践力を養う。あくまでも実学を志し、幅広い視野の知識を身に着け、豊かな発想力を生かせるように、総合的ノウハウを取得する。

講義概要

テーマ1 一般販売では出会えない、業界独特の様々な素材を体感する (2コマ)

素材業界の隠れたヒット素材や、長く販売されている素材から、開発の最前線にある個性的な素材、興味深い技術の駆使された素材など、多くの素材を直に触って、興味を深める。

講義として、最新の素材を多く持ちこみ、企業名、クオリティ、糸使い、技術を紹介する

テーマ2 ファッション産業における国内外の現状、業界スケジュール、流通形態を解説 (4コマ)

ファッションテキスタイル業界の原糸からの全体の時間の流れ、流通形態の変化、役割を紹介し、どのような仕事分担、業種が存在するか紹介。今、起きている問題点の紹介。

講義として、産地の個々の企業の紹介。先輩の活躍、今後の業界の方向性まで考察する

テーマ3 国内外の最新素材展の情報を取得し、具体的な興味を深める (2コマ)

素材展の見学、参加企業との懇談、できる限りリアル体験を目指す

講義として、海外素材展の報告、参加企業の紹介、出品素材の紹介など

テーマ4 プランニングをシミュレーションしながら、深く理解する (6コマ)

大まかなプランニングの概要を学び、自ら具体的な演習を行なながら、その都度起きる問題点、疑問点を解決しながら、企業プランニングを理解する。

講義として、企業プランニングの実際、できる事、すべきことを解説

演習として、ひらめきから、検証作業、ビジネスチャンスへつなげるプランニング作業。

プレゼンテーション方法、ビジュアル化する工夫、理解されるプレゼン作業の実施

評価方法・対象・比重

筆記テストではなく、毎回の授業姿勢、意識、その変化の評価と、最終発表するプランニングの完成度、途中のメンバーとのやり取りなどを含め、総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 車 純子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272 科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 4単位
科目コード 21210 科目名 プリントデザイン演習Ⅰ	授業期間 通年
担当教員(代表) : 太田 繁	共同担当者 : 伊藤 望、猪坂 綾野=スクリーンプリント 飯塚 有葉=デジタルプリント

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

手捺染によるスクリーンプリントとパソコンを使用したデジタルプリントのそれぞれの仕組みと特徴を把握し、織維業界に通じる実践的な技術を修得することを目標とする。前期はスクリーンプリント・デジタルプリントともに、一連の演習で基礎技術を身につける。後期のスクリーンプリントは応用的なプリント・加工法を用い、デジタルプリントはパソコンの操作技術を向上させ、それぞれの技法で制作物の完成度を上げる。

シルクスクリーンプリント

①連続柄のプリント生地 (14コマ) (講義・実習)

1. 捺染の版式／図案送りの種類と方法
2. 図案の型口／図案色分解・フィルムトレースの方法／図案データの作成方法
3. 製版前準備(紗のクリーニング・コーティング)／元糊作成方法
4. 写真製版(露光・水現像・型修正)／色出しの手順
5. 色糊の作り方／型合わせ・ポイントセットの手順
6. 布張り・印捺の方法／蒸熱・水洗・乾燥の方法
7. まとめ マップ作成

②修了制作 (13コマ) (講義・実習)

1. 情報収集
2. 図案構成、製版
3. 試作
4. 印捺前準備、印捺、印捺後処理
5. まとめ マップ作成

デジタルプリント

①連続柄の作成 (10コマ) (講義・実習)

1. デジタルプリントの特性、種類
2. Photoshopでの連続柄作成方法
3. 連続柄作成実習
4. 生地の前処理、プリント、プリント後処理
5. まとめ マップ作成

②パネル柄の作成 (13コマ) (講義・実習)

1. Illustrator の使用方法
2. パターンのスキヤニング、つなぎ合わせ
3. 柄作成、パターンへの柄の配置、変形
4. 生地の前処理、プリント、プリント後処理

5. 裁断、縫製、まとめ マップ作成

* ドレーピングの授業で作成したクリエイティブスカートのパターン使用

プレゼンテーション

(4コマ)

(実習)

前期、後期とも最終日に実施

各自、制作物を発表

評価方法・対象・比重

制作物とプレゼンテーションの内容を中心に、出席状況や課題提出状況、授業態度も評価に含める。

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書 なし

その他資料 リソースセンター標本

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272 科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 2単位
科目コード 21051 科目名 ウィービング基礎演習	授業期間 (通年)

担当教員(代表) 野沢彰	共同担当者 :
--------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイルデザインにおける繊維の構造を理解し1年次の組織実習に加え 昨日 効果 デザインのあり方を講義に加え試識し 作品 商品としての識物製品について学ぶ。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明	16	課題伍IV 装飾を オリジナル布作り
2	テキスタイル商品 参考作品の紹介	17	習得した技法を駆使し自由制作
3	課題I テクスチャー	18	織物設計 (積算 糸量計算 素材選定)
4	木粋を使い素材から作ると言う 基本を学ぶ	19	製織
5	ストロー和紙などで 緯糸となる紐状制作	20	"
6	"	21	"
7	課題II ウールの縮絨	22	"
8	卓上織機にて 組織を考え 粗蜜効果を考察	23	"
9	製織	24	"
10	縮絨しサイズのデータ取り風合い地合い観察	25	仕上げ (縮絨や ふさ結び 縫製など)
11	課題III 厚地織物 二重織	26	"
12	リバーシブル厚地織物を製織し機能をまとめる	27	まとめ
13	両面織物	28	制作した生地の 発表 プレゼンテーション
14	横口倍幅織物	29	
15	縦口袋織物	30	

評価方法・対象・比重 課題提出物の期限 完成度 及び授業姿勢

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 真田玲子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272 科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位 4
科目コード 21010 科目名 ウィービングデザイン演習 I	授業期間 通年

担当教員(代表) :	共同担当者 :
野沢 彰	前期・真田/後期・野沢

概要(教育目標・レベル設定など 200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1年次の基礎実習により織物の構造を理解した上で、素材、糸の種類、織組織などのさまざまな条件が表面効果、風合いの効果、デザインにつながることを理解させる。また、後期にはこれまでに学んだ技法を踏まえて、製品(アパレル、インテリア、雑貨など)の材料となる織物作品の制作を行い新たな織物の可能性を追求する。

* 以下は後期分<2単位>のカリキュラム概要です。

織物の設計とデザイン ······ (1)

- ・1年次の復習
- ・織物の設計と「風合い」「柄」などの関係

卓上織機によるサンプルメーキング ······ (5)

- ・特別組織
- ・立体的な織物

自由制作 ······ (21)

- ・オリジナルテキスタイル制作

作品プレゼンテーション ······ (1)

評価方法・対象・比重

実習作品、プレゼンテーション、出欠席などの学習姿勢による総合評価

主要教材図書

「ハンドウィービング(手織りの実習)」文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 野沢 彰・真田 玲子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位 2単位
科目コード 52010	科目名 テキスタイル図案 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 長谷川 朋子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期は実技課題を通じてテキスタイル図案の基礎である送り(リピート)とは何かを学び、同時に制作過程において画材の取り扱い方・アイデアを表現するための技術を習得する。

後期はテーマ別の図案作成により季節・ターゲット・用途などに合わせたデザインを考え表現する事で実務に生かせる能力を身につける。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	カラーチップによる図案制作	16	植物
2	コラージュによる図案制作	17	
3	キャラクター図案	18	
4	↓	19	絵画作品からの発想
5	幾何構成図案	20	
6		21	
7	↓	22	古典
8	チェック図案	23	
9		24	
10		25	片耳ボーダー
11	スカーフ	26	
12		27	
13		28	復習課題・講評
14		29	
15	植物	30	

評価方法・対象・比重

実技課題作品による評価

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 サンプル資料(講師作成)

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科名	ファッショントキスタイル科	2年	単位	4
科目コード	22020	科目名	テキスタイルクリエイション	II	授業期間	通年
担当教員(代表) : 奥田 博伸		共同担当者 : 太田・杉山・猪坂				

概要(教育目標) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

デザインやアイデアを実現する。その為の技術を個々が学び、実験し、実際に作り上げる中で実用性のある知識や技術を学び、仲間の作品分の経験と共に共有する自分をスタート地点とした質の高い物作りをすることによる自信の構築、経験の構築により、より発展した物作りへと繋げる

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

〈前期授業〉オリジナル製作

1. 企画を立てる
2. 企画プレゼンテーション
3. サンプル製作
4. サンプルプレゼンテーション
5. 本製作
6. 製作修了プレゼンテーション

講義・実習

1. 反応染料によるプリント
2. 顔料によるプリント色合わせ

〈後期授業〉オリジナル製作

1. 企画プレゼンテーション
2. 素材製作
3. 本企画プレゼンテーション
4. 形製作
5. 修了プレゼンテーション

講義・実習

1. 反応染料の無地染め
2. 顔料抜染と藍のプリント
3. 各種顔料プリント
4. 塩縮
5. リップル
6. 草木染料のプリント
7. 反応染料防染プリント

1. 各種工場見学

評価方法・対象・比重

各実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出欠席・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 奥田 博伸

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科名	ファッショントキスタイル科2年	単位	4単位
科目コード	02020	科目名	服飾造形Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 猪坂 綾野	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

2年次ではパンツとワンピースを制作しその構造を理解する。

作図理論・パターン展開方法を把握し基本的な縫製技術を習得する。

各自が制作したオリジナル素材を全体的または部分的に使用することを条件とする。

前期 パンツ (28コマ)

1. 一般知識 パンツの名称、デザイン、素材
2. 作図 ストレートパンツ、ストレートパンツからの展開(スリムパンツ、ワイドパンツ
ベルボトムパンツへの展開方法)
3. パターンメーキング 縫い代つきパターン
4. 仮縫い・試着補正 トワル仮縫い 実物仮縫い 試着補正方法とパターン修正
5. 裁断 裁ち方要点、柄あわせ
6. 縫製 一重仕立ての縫製手順解説 前裏仕立て説明(師範のみ)
7. まとめ 各自プレゼンテーション レポート、マップ、パンツ提出

後期 ワンピース (30コマ)

1. 一般知識 ワンピースドレスのシルエット、切り替え線、ディテールの名称
2. 作図 ウエスト切り替えのワンピースドレス、プリンセスラインのワンピースドレス
3. パターンメーキング 縫い代つきパターン パターンチェックの仕方
4. 裁断 個々のマーキングに対応
5. 縫製 個々の縫製手順に対応

6.まとめ

各自プレゼンテーション レポート、マップ、ワンピース提出

評価方法・対象・比重

制作物、マップ、レポート、プレゼンテーション

主要教材図書

文化ファッショングラフ大系 服飾造形講座②スカート・パンツ／服飾造形講座③ブラウス・ワンピース

参考図書

その他資料 コスチュームリソースセンター標本

記載者氏名 猪坂 綾野

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位 4単位
科目コード 03920	科目名 ドレーピング II	授業期間 通年(54コマ)

担当教員(代表) : 齊田 信子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

1年次で学んだ事を基礎とし、デザイン画から立体裁断で表現できるようにする。

- ・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

<製作物>

- 前期 スカート
- ・ゴアードスカート
 - ・タックトスカート
 - ・応用クリエーションスカート(各自のデザイン)
- <26>

- 後期 ワンピース
- ・Aラインのワンピース
 - ・横切り替えのワンピース
 - ・部分立体(襟・袖)
 - ・応用ワンピース(各自のデザイン)
- <28>
- ・ボディ・・・BUNKAヌードボディ使用

評価方法・対象・比重

製作物

主要教材図書

文化ファッション大系 アパレル生産講座③ 立体裁断 基礎編

参考図書

その他資料

記載者氏名 齊田信子

科コード 科目コード	科名 科目名	ファッショントキスタイル科 2年	単位	2
			授業期間	通年

担当教員（代表）：	水野雅己	共同担当者：
-----------	------	--------

教育目的・レベル設定など

ファッショントデザイン画の基礎から商品企画提案をデザイン画にしてファイル化とプレゼンテーションすること。
画力育成には自分に合った表現を自ら見つけ出そうとする力を養い、テキスタイルデザインにおける独自の画風を見つける。

授業概要＝テーマ

前期 1～4

1. (2) アンダーウェア／スイムウェア
人体のプロポーションを把握し、角度と動きを立体的に描く表現技術を習得する
2. (4) 画材研究／素材と柄表現 マーカーで描くデザイン画
マーカーの使い方、マーカーに適した柄表現
3. (3) デザイン発想 デザインワークとして参考図案からのアイテムデザイン
4. (3) アイテム研究 アイテムの歴史からのデザイン発想・展開

後期 5～7

5. (6) ファッショントデザインワーク（独自で考えた図案を衣服展開）
1つのテーマ設定の基4スタイルのデザインをスタイル画表現・アイテム製品図をイメージボードにまとめる。
6. (6) 修了作品／校内ファッショント画展
これまで習得した技術の成果をまとめる
7. (2) デザイン発想と展開 テーマの基にデザイン A に対して B.C.... と衣服のデザインを展開

評価方法・対象・比重

作品、学年末試験、出席状況

主要教材 文化ファッショント大系 服飾関連専門講座④ ファッショントデザイン画

その他資料 オリジナルテキスト

記載者署名欄 水野雅己

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2	単位 1単位
科目コード 61100	科目名 ファッションマーケティング	授業期間 前期()

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションマーケティングへの理解を深める。

マーケットリサーチを行うことで、情報収集・分析・活用を身につけ、感性をテキスタイル商品に具体的に表現する能力を育成する。

I. ファッションマーケティング入門 (2コマ) ··· 講義

- ①オリエンテーション ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス

II. 情報活動について (4コマ) ··· 講義・演習

- ①情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類について

- ②ファッション情報分析

- ・コレクション作品のトレンド分析及びビジュアルマップの作成・プレゼンテーション

III. 新ブランド開発 (8コマ) ··· 講義・演習

- ①ブランド戦略と意思決定について

- ②ブランド設定の方法

- ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント

- ③市場細分化とターゲット分析

- ・企業運営における市場細分化の意味

- ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化

- ④プレゼンテーション

- ・プレゼンテーションの方法について

評価方法・対象・比重

制作物: 出欠(7:3)

主要教材図書

参考図書 服飾図鑑・ファッショング情報誌・ファッショングキーワードなど

その他資料 図書館・リソースセンター映像ルームコレクション映像など

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272 科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 2
科目コード 53120 科目名 色彩論・演習Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 神山 勝雄	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

テキスタイルにおける色彩の基礎と応用を座学と実習をとおして学ぶと共に、アパレルにおける色彩計画の実際を就職にも使えるツールを製作しながら、色彩計画をプラン、実践出来る人材を目指す

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 色彩の基礎と応用を復習する
1年次に学んだ色彩の基礎を、テキストと実習シートを使用しながら、座学と演習で復習する。テキスト、レジュメ使用。
2. 色彩の応用 カラーコーディネート
1年次に学んだ基礎をファッションに応用した場合の色彩について、座学と演習で学ぶ。 テキスト、レジュメ使用。
3. 色彩計画の基礎を学ぶ
アパレルにおいて、どのようにして色彩計画を行うか、アパレルの役割分担とファッション産業の仕組みを学びながらその実際を学ぶ。
4. カラーリサーチとプレゼンテーション
アパレルの色彩計画の実際をショップリサーチすることで学び、その結果をマップにまとめ、プレゼンの効果的な方法を学ぶと共に発表を行う。発表については、聞くだけでなく、クラスメートの講評も同時にを行う。
5. 流行色
色彩計画の元になる流行色について、その発表時期やアパレルの展示会、テキスタイルの展示会などと関係づけて学び、リサーチの結果と合わせて分析を行う。
6. カラーを中心としたマイブランド企画とプレゼンテーション
以上学んだ色彩計画、リサーチ、流行色などのデータを考慮しながら、アパレルでの色だからスタートしたマイブランドの企画をまとめ発表を行う。製作したマップは就職活動にも使用出来るレベルのものを目標とする。
7. 色彩検定対策
年に2回実施される色彩検定を受検する際の準備、模擬テストなどを実施する。
8. ファッション業界の中でのテキスタイルの重要性と色彩計画の関係をリサーチやマイブランド企画で学習し、就活へもつなげられるような成果物製作を行う。

評価方法・対象・比重

出席率 20% 提出物 30% テスト 30% 授業態度 10% プrezen 10%

主要教材図書
ファッション色彩 I カラー実習シート トレーニングカラー式
参考図書
その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コト 14272	科名 ファッションテキスタイル科	単位 2
科目コト 21810	科目名 染織文化論 I	授業期間 通年

担当教員(代表) : 高橋 淑恵	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

日本の染織文化について年代を追って歴史的に解説する。また、日本の染織文化に影響を及ぼした中国や東南アジアなどの東洋の染織文化や西洋の染織文化のつながりについて触れることにより深い理解と見識を広げ、染織の文様や知識を身につけることを目指す。様々な染織の知識はテキスタイルを考えるうえで応用できる基礎的な力を育てることを目標とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	染織文化の始まり	16	室町時代の染織と文様
2	古代の染色	17	安土桃山時代の染織と文様 1
3	織物の始まり 原始機について	18	安土桃山時代の染織と文様 2
4	飛鳥時代の染織と文様	19	小袖の発生と進展
5	奈良時代の染織と文様 1	20	小袖の文様
6	奈良時代の染織と文様 2	21	江戸時代の染織と文様 1 歌舞伎衣装
7	シルクロードについて	22	江戸時代の染織と文様 2 縞・紺
8	貝紫について	23	江戸時代の染織と文様 3 吉祥文様
9	平安時代の染織と文様	24	沖縄の染織
10	鎌倉時代の染織	25	アジアの染織と文様 更紗
11	日本の家紋と西洋の紋章	26	アジアの染織と文様 イカット
12	琉球王家の染色 1	27	総まとめ
13	琉球王家の染色 2 紅型実習	28	
14	琉球王家の染色 3 藍型実習	29	
15	中国の染織	30	

評価方法・対象・比重

ペーパーテスト 90% 出席・提出物 10%

主要教材図書 なし
参考図書 織りと染めの歴史 日本編 河上繁樹 藤井健三著
その他資料 プリント

記載者書名欄 高橋 淑恵

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 4
科目コード 20351	科目名 染色演習（選択）	授業期間 通年

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

- 実験実習及びレポート製作を通して各染色技法、加工方法を習得し、新たな発想力、表現力を養う。
- 後半では自由制作を通じて、素材選択から染色加工に至るまでのファッション衣料としてのテキスタイルの総合理解を図る。

1. 染色概論

テキスタイル及び染色に関する一般知識（講義） 1

2・原毛染色（先染め）及びウール地（後染め）によるカラートライアングルの作成（実験） 7

3・グリージーウール、絹の生機を用いて精錬・漂白実験（実験） 2

4・染色基礎実験（直接、酸性、分散、反応、スレン=建て染め、ナフトール染料）（実験） 4

5・天然染料による染色実験（実験実習）

染料の種類（蘇芳、茜、コニール、玉ねぎ、紅花、ふし、ざくろ等）、特徴、エコロジーについて 2

6・絞り染め、板締め絞り（実習）

素材別（天然、合成繊維）、染料別、技法の違いによる表現効果の違いについて 2

7・糸染色（実習）

糸（綿、ウール）の形態別浸漬方の理解。ウィービング基礎演習の授業に使用する糸を染色 2

8・型染め…捺染の種類及び顔料と染料の表現方法の違い（実習）

日本の型染めについて、顔料や特殊プリント加工の特徴について 4

9・ろうけつ染め（実習） ろう防染による表現の可能性、ジャワ更紗など 4

10・更紗（描き更紗、芋版更紗）（実習） 更紗柄、種類、表現方法の違いについて 4

11・皮革染色（実習） 皮革の種類（牛、豚）、染色、表面加工方法など 4

12・特殊な捺染及び加工方法（実習）

分散染料による乾式転写の原理及びマーブリング技法について 2

13・フェルト及び糸紡ぎ（実習） 羊毛の縮絨性について 2

14・自由作品制作（実習） 各自習得した染色技法や加工法をもとに作品制作及び発表 10

15・ジャパンクリエーション見学（年2回） 2

16・夏季休暇課題（地場産業レポート）

評価方法・対象・比重

- 出席、各実験、実習ごとのレポート及び実習物、ペーパー試験（前期）、自由作品制作（後期）による総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連専門講座③ アパレル染色論

参考図書

その他資料

ファッションリソースセンター資料

記載者書名欄 杉山 美和

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 1単位
科目コード 98120	科目名 特別講義 II	授業期間 通年

担当教員(代表) : 猪坂 綾野	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

物作りをする上で有意義な情報や技法を学びとり、個々の創作活動に発展性を持たせる

1. 迷彩柄	朝日 真	(1コマ)
2. テキスタイルトークセッション	シミズダニヤスノブ	(1コマ)
3. 手紙社のお仕事	藤枝 大裕	(1コマ)
4. 産地の現場	濱田 美希	(1コマ)
5. テキスタイルビジネス	金子 博也	(1コマ)
6. プリントデザイン企画	近藤 正嗣	(6コマ)
7. 帽子	※調整中	(4コマ)

評価方法・対象・比重
出席状況、レポート提出

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 猪坂 綾野

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 1単位
科目コード 96100	科目名 校外研修 II	授業期間 前期（集中）

担当教員（代表）：猪坂 綾野	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイル産地の企業見学および古美術研修を行う。企業見学は企業での実務、特に生地や製品の生産工程を見学し産地や企業の特色を学ぶ。古美術研修は国宝や文化財などの歴史的価値にふれ、見聞を広める。

研修内容

1日目 和歌山県の島精機製作所見学

(無縫製型横編み機ホールガーメント)

2日目 和歌山県高野口産地の企業見学

妙中パイアル織物株式会社見学

(パイアル織り工場・染色加工工場)

中野メリヤス工業株式会社見学

資料館見学

3日目 川島織物セルコン見学

(室内装飾・インテリアファブリックのデザインの現場と製作工程)

4日目 岐阜県毛織物工業協同組合（テキスタイルマテリアルセンター）にて研修

現地講師による織物についての講義

収蔵テキスタイルの見学

企業・工場訪問

評価方法・対象・比重

レポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 猪坂 綾野

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位 1
科目コード 65552	科目名 キャリア開発Ⅱ（コミュニケーション）	授業期間 (前期)

担当教員(代表)清水 明子	共同担当者 :
---------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

将来を考えるテーマを通し、「(読む)・聴く・書く・話す力」を養う

- ・社会情勢に关心がもてるようになり、また、人前で自分の意見を堂々と言えるようになる
- ・グループプレゼンテーションを通し、自分のことを表現したり、チームで協働することを経験する

育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返して出来るようになるまで行う

コマ	内 容	コマ	内 容
1	自己分析（自己表現・相手との相互理解）	16	
2	勤労観（キャリア開発について考える）	17	
3	職業観（社会人について考える）	18	
4	自己理解（エコグラムによる自己分析）	19	
5	コミュニケーション1（自分の強み理解）	20	
6	コミュニケーション2（聴く力を磨く）	21	
7	コミュニケーション3（実習と発表）	22	
8	コミュニケーション4（実習と発表）	23	
9	コミュニケーション5（実習と発表）	24	
10	プレゼンテーション1（効果的なスキルを学ぶ）	25	
11	プレゼンテーション2（実践の訓練に入る）	26	
12	成果発表	27	
13	成果発表	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

受講態度（グループワーク・プレゼンテーション実習）80%、レポート20%

主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名 清水 明子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272 科名 ファッションテキスタイル科 2年	単位	単位 1
科目コード 65562 科目名 キャリア開発Ⅱ（就職対策）	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 清水 明子	共同担当者 :
------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・学生が就職を志望する先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける

1. はじめに/就職活動の進め方（…講義1コマ）

働くことの意義、職業人の心構え、就職活動の流れと進め方
2. 身だしなみ、立ち居振舞い（…講義+実習=1コマ）

第一印象の重要性、立ち居振舞いの理解と実践
3. 自分を知る（…講義+実習=1コマ）

自己分析、自己PR/志望動機のポイントを理解
4. 自己紹介（…講義+実習=1コマ）

選考のための自己紹介を理解し実践
5. 履歴書・エントリーシート（…講義+実習=1コマ）

選考に通る履歴書・エントリーシートのポイントを理解
6. 言葉遣い（…講義1コマ）

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話の習得
7. 電話・Eメール（…講義+実習1コマ）

電話のマナー、Eメールのマナーの習得
8. 面接試験（…講義+実習=2コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策
9. グループディスカッション（…講義+実習=1コマ）

コミュニケーションスキル向上と試験対策
10. 作品プレゼンテーション（…講義+実習=2コマ）

プレゼンテーションスキルの向上と試験対策
11. 会社訪問・店舗見学（…講義+実習=1コマ）

会社訪問、店舗見学のマナーの習得

評価方法・対象・比重

- ・出欠席、受講態度、実習（面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習）参画度

主要教材図書

「就職対策」（キャリア支援室）

参考図書

特になし

その他資料

特になし

記載者氏名 清水 明子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14272	科名 ファッションテキスタイル科2年	単位 2単位
科目コード 96500	科目名 企業研修	授業期間 後期（集中）

担当教員（代表）：猪坂 綾野	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

研修先企業で業務の一端を経験することにより、業界の仕事内容を認識するとともに社会人としてのマナーを身につける。
就職意識を高め就職活動の参考要素とする。

マーケットリサーチ など

研修先業種

繊維総合商社

繊維製品総合メーカー

織物工場

染色工場 など

研修内容

<商社・メーカー>

講義聴講

スワッチ整理

展示会見学

<織物・染色工場>

補助的作業

他工場見学 など

評価方法・対象・比重

出席状況、研修報告、レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 猪坂 綾野

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科	単位 2単位
科目コード 63050	科目名 テキスタイルマーチャンダイジング	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 竹内 忠男	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期の教育目標は2年次までに習得した知識内容レベルの自己判断をした上で、テキスタイル知識の補足的復習。

後期は前期の内容を踏まえて、シーズンテキスタイル企画、又アイテム企画等への応用を学習し、各自のオリジナル性を生かした、ファッションテキスタイルマーチャンダイジング手法を習得する事を目標とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	講義全体ガイダンス。	16	ファッション市場分析の手法。
2	マーケティングとマーチャンダイジングその定義と差異。	17	ブランドの市場ポジショニング手法の解説。
3	習得素材知識確認テスト実施。	18	グループ作業にて市場ポジショニング作業。
4	上記テストの解答と解説。	19	同上
5	PPT使用にて、素材知識解説(繊維原材料)。	20	上記作業の各グループ発表とその講評。
6	上記サンプルの提示と解説。	21	グループ作業にてファッションシーズン企画立案作業。
7	PPT使用にて、素材知識解説(糸種・糸の太さ)。	22	同上
8	同上	23	上記作業の各グループ発表とその講評。
9	PPT使用にて、素材知識解説(織・編組織)。	24	これからのデザインの考え方と市場の方向性解説。
10	上記サンプルの提示と解説。	25	各個人にてシーズン企画立案作業。
11	PPT使用にて、素材知識解説(染色仕上げ加工)	26	同上
12	上記加工サンプル提示解説。	27	個人企画作業の発表と講評、評価。
13	日本繊維業界の現在における流通形態の解説。	28	
14	同上	29	
15	日本の産地状況(産地生産地の紹介を含む)	30	

評価方法・対象・比重

前期評価は習得知識確認の筆記テストを実施、後期は企画立案とその内容プレゼンテーションを主たる評価とする。

提出レポート、出席はその補完事項とする。

主要教材図書
参考図書
その他資料 リソースセンター資料(テキスタイルライブラリー、ビデオ等)

記載者氏名 竹内 忠男

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科3年	単位 4
科目コード 21220	科目名 プリントデザイン演習 II	授業期間 前期

担当教員(代表) : 川合 止戈光	共同担当者 : 川合・太田
-------------------	---------------

教育目標・レベル設定など

近代主義（モダニズム）の意味と20世紀の主な美術・デザインの流れを知ることで、デザインに役立つ知識や考えを得る。特に1960年代以降の音楽やファッショントキストスタイル・デザインによる大きな変化をもたらしたことなどを知る。各自それがテーマ設定を行い、演習によるデザイン制作をする。さらにはマップによる企画を立て、オリジナルなテキスタイルとしてペーパーデザイン、スクリーンを制作して実際のファッショントキスタイルとして作りあげる。こうした様々な制作工程を自分で管理し、テキスタイル作品として仕上げる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

デザインを知っていく上で、キュビズムの遠近法の否定、構成主義の表現の簡素化、シュール・レアリズムの意識の形式化、抽象表現主義の感情表現、日常の中に今日的問題を発見するポップ・アートなどを学び演習することで、テキスタイル・デザインはファッショントともにあり、時代の気分を先取りするものであることを知る。トレンドを感じ取り、自身のデザインテーマを表現する。

講義

1. モダニズムと印象派
2. アールヌーボーとパリ
3. ロシアバレエ「リュッス」
4. キュビズムとフォービズム
5. 表現主義と抽象
6. 構成主義と「デ・スティール」
7. シュール・レアリズム
8. ダダイズム
9. 抽象表現主義
10. ヒッピー思想
11. ポップ・アート
12. アース・ワーク（環境アート）

演習

1. 図形の認識と意味
2. 提案されたものでデザイン
3. 立体をテーマにデザイン
4. 透視図とアイソメ
5. 立体を図案にする
6. 抽象をデザインする
7. シュール・レアリズムについて
8. シュール・レアリズムの手法
9. 抽象表現を試みる
10. ポップ・アートを描く
11. ポップ・アート表現
12. エコロジーをテーマにデザイン

制作

1. プリント概論
2. マップの役割について
3. イメージ、カラー・マップ
4. コンセプト・マップ
5. スタイリング、ライン・マップ
6. スタイル画、デザイン・マップ
7. デザインの決定
8. デザイン画の作成
9. フィルムづくり、版下作業
10. スクリーンの制作
11. プリントの制作
12. マップ（企画書）の発表

評価方法・対象・比重

知識、技術は評価対象とはするものの、むしろ新しいデザインを予感させるものや、発想の独自性、さらには時代の気分・トレンドをよく表現した作品に主な評価基準を置くものとする。

主要教材図書

講義用プリント テキスタイルプリント語集 テキスタイル関連書 美術関連書 校外での美術館等の展覧会（希望者）

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273 科名 ファッションテキスタイル科3年	単位 4
科目コード 21020 科目名 ウィービングデザイン演習Ⅱ	授業期間 前期

担当教員(代表) : 野沢 彰	共同担当者 :
--------------------	---------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

1、2年次の「ウィービング基礎演習」「ウィービングデザイン演習Ⅰ」で学んだ織物の設計と構造、デザインに関する知識と技術を踏まえ、アパレル製品などの素材として、織物を量産する立場から捉えられるよう指導する。同時に新たな織物デザインの可能性をさまざまな面から追求しコンテストや卒業制作の素材となる織物作品を制作する。

ドビー織機による布地制作のためのガイダンス ······ (4)

- ・「文化ファッションテキスタイル研究所」見学
- ・研究所所長 宮本 英治 先生 特別講義

修了制作準備・製織 ······ (52)

- ・ドビー織機を用いた布地制作
- ・手織機を用いた布地制作
- ・その他の技法を用いた織物制作

評価方法・対象・比重

実習作品、出欠席などの学習姿勢による総合評価

主要教材図書

「ハンドウィービング（手織りの実習）」文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 野沢 彰・真田 玲子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273 科名 ファッションテキスタイル科 3年	単位 2 単位
科目コード 52020 科目名 テキスタイル図案Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 長谷川 朋子	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します)

2年時の演習の上にさらに独自の発想を表現できるレベルに技術を向上させ、テーマ別にターゲット・季節など使用するシーンをこまかく設定した図案を作成することで、繊維業界における図案の実際を学ぶ。

プリント演習・服飾造形等他の授業と連携し図案作成からプリント、縫製まで服作りの流れを習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1 花		16 音楽	
2		17	
3		18	
4 ハンカチ		19 2016SS用メンズ	
5		20	
6		21	
7 2015-16AW用レディース		22 自由制作	
8		23	
9		24	
10 古典		25	
11		26	
12		27 プrezentation・講評	
13 エスニック		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
実技課題作品による評価

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 サンプル資料(講師作成)

記載者氏名

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科3年	単位 4
科目コード 22030	科目名 テキスタイルクリエーション III	授業期間 後期

担当教員(代表) : 太田 繁	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

1・2年次で学んだテキスタイルに関する知識、技法を活かし3年次の課題としてトレンドを意識したテキスタイルを制作する。各自がテキスタイル企画から制作までを行い、企画力や技術のスキルアップを目的とする。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

製作物

- ・ 卒業研究、創作で制作する作品の素材
- ・ テキスタイルコンテスト作品 ジャパンテキスタイルコンテスト
など
- ・ 就職活動用としてのサンプル及び实物制作

方法

各自がテーマを決め染色・プリント・加工・ウイービングなどの方法を検討しテキスタイル素材を制作

コマ数

60コマ

作業の流れ

<企画>

- ・ 情報収集→テーマの検討、決定
- ・ テキスタイルデザイン企画

<制作>

試作したテキスタイルの制作方法で、各自の作品(服飾 インテリア素材)などの必要尺を制作する

<発表>

企画プレゼンから、サンプルの解説

完成ポートフォリオと实物作品による発表と講評

評価方法・対象・比重

製作物、レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 太田 繁

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14273	科名	ファッショントキスタイル科 3年	単位	4 単位			
科目コード	02030	科目名	服飾造形 Ⅲ	授業期間	通年（54 コマ）			
担当教員（代表）：	齊田 信子	共同担当者：						
概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）								
3年次では、ジャケットとコートを制作し、各アイテムの構造を理解する。 応用的なアイテム制作をすることで、発想力や技術力の強化を図る。 素材は、各自が制作したオリジナル素材を使用することを条件とする。								
・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ								
前期 一重ジャケット（26コマ）								
1. 一般知識	ジャケットの語源、歴史、シルエット、ディテールの名称							
2. 作図	ベーシックなテーラードジャケット、（テーラードカラー、2枚袖）							
3. パターンメーキング	パターンチェック、一重仕立ての縫い代のつけ方、表襟、見返しの展開方法							
4. 裁断	裁断、印つけ、柄合せの方法							
5. 本縫い準備	接着芯の貼り方、テープの貼り方、縫い代始末の方法							
6. 縫製	一重仕立ての縫製手順解説 *特にポケットの作り方、表襟・裏襟の付け方・返し方に重点を置く							
7. まとめ	各自プレゼンテーション レポート、マップ、ジャケット提出							
後期 コート（30コマ）								
1. 一般知識	コートの歴史、シルエット、形態による名称							
2. 作図	ラグランスリーブのコート							
3. パターンメーキング	総裏仕立て、表布・裏布のパターンメーキング							
4. 裁断	裁断、印つけ（表布・裏布）							
5. 本縫い準備	接着芯の貼り方、テープの貼り方							
6. 縫製	総裏仕立てでラグランスリーブの縫製手順解説							

7. まとめ 各自プレゼンテーション レポート、マップ、コート提出

評価方法・対象・比重

制作物、マップ、レポート、プレゼンテーション

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座④ジャケット・ベスト ⑤ コート・ケープ

参考図書

その他資料 コスチュームリソースセンター標本

記載者氏名 齊田信子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科 3年	単位 2単位
科目コード 03930	科目名 ドレーピングⅢ	授業期間 通年(28コマ)

担当教員(代表) : 齊田 信子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

平面作図では表現しづらいフォルムを立体裁断で型出しすることにより、そのテクニックを習得するとともに平面作図との比較材料にする。立体を創り出す際に広い視点で形をとらえる訓練をする。

・デザインの読み取り方、パターン構成を学ぶ

前期 ジャケット パネルラインによる4面構成でシルグルブレストのテーラードジャケット
<14>

1. ドレーピング
2. パターンメーキング
3. ピン仕上げ

クリエイティブジャケット 各自のデザイン

後期 コート トレンチコート
<14>

1. ドレーピング
2. パターンメーキング
3. ピン仕上げ

クリエイティブコート 各自のデザイン

- ・ドレーピングによるシルエット出しから実物布への変換説明

ボディ・・・BUNKAヌードボディ使用

評価方法・対象・比重
制作物、プレゼンテーション

主要教材図書
文化ファッション大系 アパレル生産講座③ 立体裁断 基礎編

参考図書

その他資料

記載者氏名 齊田信子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273 科名 ファッションテキスタイル科3年	単位	単位2
科目コード 51130 科目名 ファッションデザイン画 III	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

卒業学年ではデザインの現場(社会)で求められる業務内容を課題内容として、プロへの準備段階と考える。

作品レベルでは個性を尊重するが思いつきの内容ではなく第三者の質問に丁寧な説明が出来ることを目指す。

● アイテム図の応用 トップス ボトムス

アパレル業界で多く描くことになるアイテム図を正確にバランス良く描く。

ベーシックアイテムの例題

スカート/パンツ シャツ/ドレスシャツ ジャケット/テーラードジャケット

フロントスタイルとバックスタイル

● オリジナルデザイン (テキスタイル図案と連動)

発想(コンセプト立案) 制作からプレゼンテーション

オリジナルデザインしたラフスケッチを基にアイテム製品図を描く。フロントスタイルとバックスタイル

オリジナルデザインしたアイテムをスタイル画にまとめる

自分の作品を口答でプレゼンテーションする重要性を理解する。

就職の面接時の練習もかねて意識づける。

● クリエーションブック1 (前半)

デザインの現場で求められる企画力に対応できるように学生各自の世界観を

世の中のニーズに落としこみ新しい価値の提案をまとめる課題

コンセプト立案 企画イメージマップ テキスタイル図案 アイテム製品図 スタイル画15点以上

クリエーションブック中間発表

● 夏期課題 クリエーションブック1完成

投票/プレゼン 自分の作品を口答でプレゼンテーションする事はデザイン表現の一部である事を理解する。

● クリエーションブック2 (後半)

完成したクリエーションブック1の流れを基に、より具体的な新しいテーマを設定し作品内容の進化、グレードアップを目指す。

企画イメージマップ テキスタイル図案 アイテム製品図 アクセサリー スタイル画5点以上

クリエーションブック2完成 投票/プレゼン

- 学内コンテスト作品応募

- 校内ファッション画展の作品制作

評価方法・対象・比重

各課題制作物と前期末、学年末試験による評価

(課題・テーマに対する発想力、描く技術力、プレゼンテーション力の三つのバランスと出席率)

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科 3年	単位 2
科目コード 21820	科目名 染織文化論Ⅱ	授業期間 通年

担当教員(代表) : 原田 弘美	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

古代から現代まで時代背景に基づきながら、西洋染織の変遷と特徴を解説します。

各時代の染織模様の由来や象徴性について理解を深めるとともに、過去の染織から学んだ知識を新たなデザイン発想へと展開させ、さまざまな分野のテキスタイル制作に応用させることを目標とします。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義授業 ／ DVD、スライド(Microsoft Office PowerPoint)使用

1. 織物の起源 (2コマ) 天然素材の流通と古代染料
2. 古代の染織 (2コマ) コプトの綴れ織
プレ・インカの染織
3. 中世の染織 (5コマ) 絹の伝来とビザンチンの染織
布地の紋章
ゴシックの染織
4. 近世の染織 (7コマ) ルネサンスの染織とタペストリー
バロックの染織とヨーロッパのレース
ロココの染織
インド更紗の流行とプリントの発展 フランス更紗
5. 近代の染織 (6コマ) アンピールの染織とカシミールショール
イギリス更紗とウィリアム・モ里斯のデザイン
アール・ヌーボー様式の特徴と染織
6. 現代の染織 (5コマ) アール・デコ様式の特徴と染織
ファッショントレーナーとテキスタイルデザイン
モダンデザインと染織
まとめ

評価方法・対象・比重 筆記試験(中間・期末) . . . 70%

提出物(課題演習) . . . 20%

出席状況 . . . 10%

主要教材図書 「西洋染織模様の歴史と色彩」 著者:城 一夫 発行所:株明現社

参考図書 「リヨン織物美術館」第1~3巻 監修:ジャン=ミシェル・テュショル 発行所:株学習研究社

その他資料 なし

記載者署名欄 原田弘美

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14273 科名 ファッションテキスタイル科3年	単位 1
科目コード 40000 科目名 アパレル品質論	授業期間 前期

担当教員(代表) : 吉村とも子	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など

アパレル製品を品質管理するための要因となる品質基準、評価法、品質表示法、法規制などについて講義、実習、見学等を通して習得する。アパレルを取り巻く社会環境も意識し、企画・生産・販売に学んだ知識が生かせるようとする。

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- | | | |
|---|-------|-----|
| 1. アパレルと品質 | 講義 | 1コマ |
| ・アパレルに求められる品質
・アパレルの製造工程管理
・一般的品質管理の実施法、分析法 | | |
| 2. アパレル製品の品質表示と法規制 | 講義 | 2コマ |
| ・家庭用品品質表示法 繊維製品の品質表示
・任意表示
・関連する法規制 | | |
| 3. アパレル製品の取扱い | 講義・実習 | 5コマ |
| ・家庭洗濯・商業洗濯
・特殊クリーニング
・保管
・耐薬品性（しみ抜き実習）
・特徴ある素材とその取扱い | | |
| 4. 品質管理の基礎知識及び試験方法 | 講義・演習 | 4コマ |
| ・テキスタイルの品質評価基準及び試験方法
・衣料用生地の検査基準ガイドライン
・生地欠点の解説
・染色堅牢度実験
・寸法変化率実験 | | |
| 5. アパレル製品の保証とクレーム | 講義 | 1コマ |
| ・商品の保障とクレーム対策
・クレーム事例の紹介 | | |
| 6. 繊維製品品質技術センター 見学 | 見学 | 1コマ |

計 14コマ

評価方法・対象・比重

試験を主に、レポート、出欠状況を総合評価

主要教材図書

文化ファッション大系服飾関連専門講座②「アパレル品質論」文化服装学院編

参考図書

その他資料

記載者書名欄 吉村とも子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード	科名 ファッション テキスタイル科3年 科目名 ピンワーク	単位 2
		授業期間 前期／後期 隔週

担当教員(代表)： 伊藤淑恵

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

- I. ピンワークを演習する事によって、テキスタイル作品をさまざまな手法で立体表現し、基礎的な空間演出を習得する。
- II. 布地の表現手法、素材感を演習によって経験し、制作の発想、企画、立案、制作までの計画性と実現力を養う。
- III. ポートフォリオ制作：授業での演習作品、をポートフォリオにまとめ、今後の作品発表に欠かせないプレゼンテーション力を身につける。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. [講義] ファブリック、スカルプチャーについてパワーポイントで具体例と共に解説。
制作へのインスピレーションについて。広い意味での布による立体造形のアート作品の紹介。
布地の素材感について。
ポートフォリオ制作の基本について。まとめ/応用演習*パネル、ボディ、マネキンで演習
 - [演習] ピンワークの基本テクニック 1. ①アンヴィエ ②ドウブルヴィエ
 2. [解説] 制作活動に欠かせない資料のファイリングについて。
[演習] ピンワーク.テクニック ③ギャザリングA/B *トルソー展開
 - [演習] ピンワーク.テクニック ④ギャザリングB *パネル展開 ⑤タッキング
 - [演習] ピンワーク.テクニック ⑥ドレープ*パネル／トルソー展開
 - [演習] ピンワーク.テクニック ⑦モーフィング ⑧ブリーツ：横地、縦地
 - [演習] ピンワーク.テクニック まとめ／応用演習*パネル、ボディ、マネキンで演習／マネキンの扱い方。
ピンワークテクニックのまとめ／グループ制作 1.
 - [演習] ピンワーク.テクニック 器具での表現。(1)バー、フッキング、展開 +マネキン
 - [演習] ピンワーク.テクニック 器具での表現。(1)バー、フッキング、展開 +マネキン
 - [演習] ピンワーク.テクニック まとめ アイデア.スケッチ
 - [演習] フォーミング.テクニック ワイヤー、紙等を使用したフォーミング
 - [演習] フォーミング.テクニック ワイヤー、紙等を使用したフォーミング
 - [演習] ファブリック.スカルプチャー／グループ制作の企画打ち合わせ、準備。
 - [演習] ピンワーク.テクニック 空間演出 1 自作のテキスタイルでの空間演出
 - [演習] ピンワーク.テクニック 空間演出 2 自作のテキスタイルでの空間演出
- *授業後にポートフォリオを提出。講評。採点。

評価方法・対象・比重

演習での制作作品（個人又はチーム）・ポートフォリオ（個人）・出欠状況・授業態度 これらを総合的に評価する。

主要教材図書 特になし／ *プリントによるテキスト配布。

参考図書 担当者個人のイメージファイル

その他資料 担当者オリジナルのピンワークテクニックのプリント。パワーポイント、DVDによる資料

記載者書名欄 伊藤淑恵

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 14273 ファッションテキスタイル科3年	単位 1
科目コト 98130 特別講義 III	授業期間 通年

担当教員(代表) : 太田 繁	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

物作りをする上で有意義な情報や技法を学びとり、個々の創作活動に発展性を持たせる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-------------------------|-----------|-------|
| 1. 織物の企画 | 宮本 英治 | (2コマ) |
| 2. 迷彩プリントの歴史 | 朝日 真 | (1コマ) |
| 3. ショーの組み立てと演出の必要性 | 斎藤 正彦 | (3コマ) |
| 卒業制作ショーに向けて (モデル指導含む) | | |
| 4. ファッショントレンド情報解説 | 澤住 優子 | (1コマ) |
| 5. リーダーシップの心得 | 池 悅子 | (1コマ) |
| 6. テキスタイル業界の現状 | 奥田 博信 他2名 | (1コマ) |
| (テキスタイルトークセッション) | | |
| 7. ヘアメイク (卒業制作に向けて) | 夏目 幸恵 | (2コマ) |
| 8. コーディネートの必要性 | 木本 晴美 | (1コマ) |
| 9. テキスタイル産地1
(浜松産地) | 濱田 美希 | (1コマ) |
| 10. テキスタイル産地2
(福井産地) | 株第一織物 | (1コマ) |
| 11. ブランドの立ち上げ | 吉田 康成 | (1コマ) |
| 12. 現役デザイナーの話し | 田山 淳朗 | (1コマ) |

評価方法・対象・比重

出席状況、レポート提出

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 太田 繁

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科 3年生	単位 1
科目コト 96650	科目名 インターンシップ（自由選択）	授業期間 後期

担当教員(代表) : 太田 繁	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

各自の就職活動の一環として、企業や業種の現場での研修を行い仕事の内容を認識するとともに就職意識を高めることを目的とする。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・キャリア支援室との連携協力のもと各自が希望する企業、又は関連性のある企業での研修を行うことを目的とする
(その際は企業側からの提案、必要とされる研修内容に沿い、その先の就職に繋げられる研修となることを理想とする)
- ・就職活動の準備として、情報の収集やポートフォリオの作成
(インターンシップ研修日以外の授業日)

評価方法・対象・比重

- ・企業からの研修状況の報告及び、学内での就職活動用資料制作準備などで総合的に評価する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 太田 繁

科コード 14273	科名 ファッションテキスタイル科 3年	単位 5
科目コード 97900	科目名 卒業研究・創作	授業期間 前期1 後期4

担当教員(代表) : 太田 繁	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など ファッションテキスタイル科の最終課題として、制作する素材と服のデザインの調和に重点を置き 時代性を加味しつつ独創的で完成度の高い作品を目指す。
--

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、 制作物 アパレル作品の素材・アパレル作品(テキスタイル素材を生かした作品)・研究レポート・マップ 方法 各自分が素材と服の制作方法を検討した上で作業計画を立て作品制作を進めていく。 コマ数 58コマ 作業の流れ 【企画】 <ul style="list-style-type: none">・ 情報収集→ テーマの検討・決定・ テキスタイルデザイン企画・ アパレル作品デザイン企画 【試作】 <ul style="list-style-type: none">・ テキスタイル試作→ 自分の打ち出したテーマ(デザインイメージ)にそくした作品を制作するために方法論を模索し決定する。・ アパレル制作型出し→ 素材と服のデザインの相性を考慮しつつ作品の型出しと補正を行い、布の要尺の見積もりを立てる。同時に縫製工程分析も行う。 【制作】 <ul style="list-style-type: none">・ テキスタイル制作 (ウービング演習Ⅲ・プリントデザインⅢ・テキスタイルクリエーションⅢ)の授業と連動し、テキスタイル制作を行う。・ アパレル作品製作 制作したテキスタイルを用いてアパレル作品(バッグ小物含む)を制作する。・ マップ・レポート制作 【発表】 卒業制作ショー 学内卒業制作展示 学外卒業制作展示 にて、卒業にあたっての成果を発表する。

評価方法・対象・比重 企画力、作品、マップ・レポート、プレゼンテーション、展示構成力

主要教材図書
参考図書
その他資料 ファッションリースセンター・映像資料室・コレクションDVD・コスチューム資料室 資料

記載者書名欄 太田 繁
